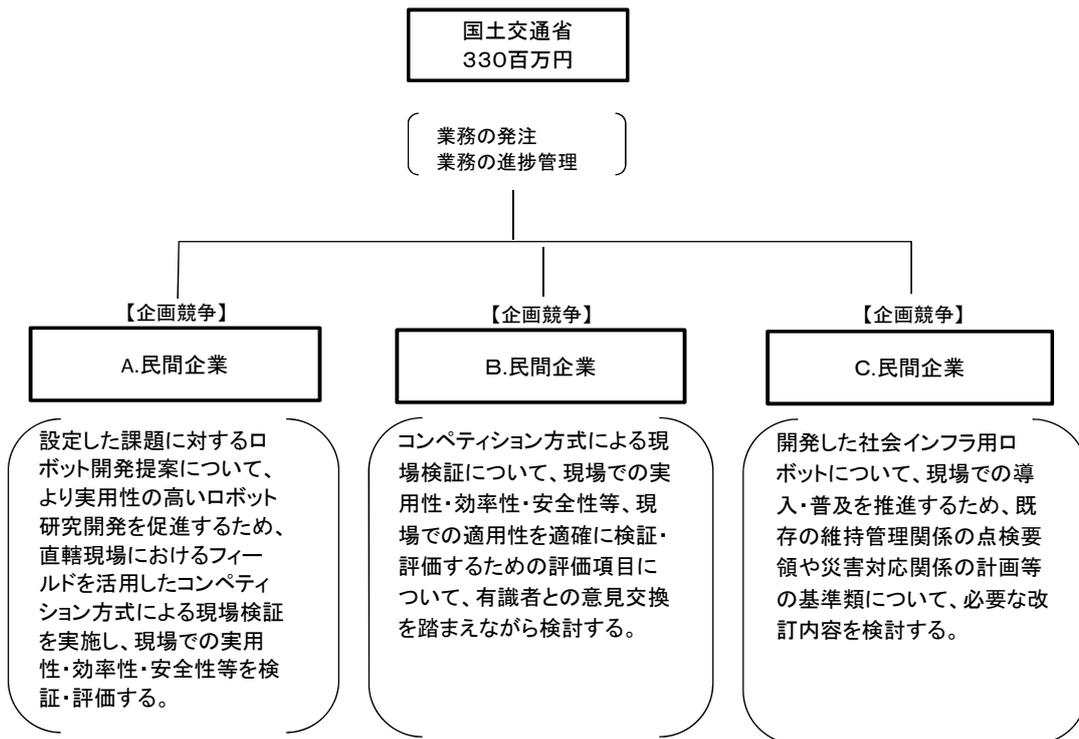


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進		担当部局庁	総合政策局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度/平成28年度		担当課室	公共事業企画調整課	課長 山内 正彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	科学技術イノベーション総合戦略、日本再興戦略、世界最先端IT国家創造宣言			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在、我が国の社会インフラを巡っては、老朽化の進行、地震及び風水害等の災害リスクの高まり、人口減少・少子高齢化等の課題に直面している。これらの課題に対応するため、社会インフラの維持管理及び災害対応に関して、その効果・効率の一層の向上のため、それらを支えるロボット技術の開発・導入を迅速且つ集中的に進めていくことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本施策では、社会インフラの現場ニーズに基づき、国内外の異分野も含めた産学の技術シーズを踏まえ、「維持管理・災害対応(調査・施工)」の3つの重要な場面におけるロボットについて、現場での検証を通じ、開発・導入を推進する。その際、直轄現場において先導的にロボットを導入することで、同じ課題に直面している地方公共団体への普及を促進する。さらに、インフラの老朽化や人口減少・少子高齢化の課題に直面することが予想される海外諸国に対し、我が国で培われたロボット技術の展開を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					330
		繰越し等					
		計					330
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(30年度)
	本事業は社会資本の維持管理及び災害対応を支援するロボットを開発・導入し、安全性や効率を向上させることを成果目標としている。 そのため、ニーズ・シーズを調査・分析の上、具体のロボットの開発・導入目標の設定し、開発を行うため、現時点で要求性能・仕様等が未定であるロボット開発・導入の成果実績を明示的に示すことは困難である。	成果実績	件				
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は社会資本の維持管理及び災害対応を支援するロボットを開発・導入し、安全性や効率を向上させることを成果目標としている。 そのため、ニーズ・シーズを調査・分析の上、具体のロボットの開発・導入目標の設定し、開発を行うため、現時点で要求性能・仕様等が未定であるロボット開発・導入の活動実績を明示的に示すことは困難である。	活動実績 (当初見込み)		( )	( )	( )	-
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	-	0.5百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」330百万円			
	職員旅費	-	0.6百万円				
	委員等旅費	-	0.3百万円				
	社会資本維持・管理 効率化推進費	-	329百万円				
計	-	330百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	社会インフラの老朽化及び大規模災害への対応は喫緊の課題であり、地方公共団体等の各管理者が個別にロボット開発を行うことは非効率であるため、国が共通的なニーズ・シーズに基づく開発・導入を率先して行い、他の管理者へ普及を図ることが必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○「科学技術イノベーション総合戦略」(H25.6.7閣議決定)において、「効果的かつ効率的なインフラ維持管理・更新の実現」「自然災害に対する強靱なインフラの実現」が重点的取組に掲げられており、その工程表の中で「自動点検技術・無人点検技術等の開発」として「維持管理ロボット技術」が、「自動化・無人化技術の開発・実証」として「災害対応のための建設ロボット技術の導入」が位置づけられている。</p> <p>○「世界最先端IT国家創造宣言」(H25.6.14閣議決定)において、「センサー、ロボット、非破壊検査等の技術も活用することにより、社会インフラを安全により長く利用できることにつなげ、世界でもっとも安全で経済的な社会インフラを実現する」と記されている。</p> <p>○「日本再興戦略」(H26.6.14閣議決定)においては、「世界最先端の技術力を有するセンサーやロボットなどのデバイス・システム技術や宇宙インフラによる測位・観測技術、データ管理・活用技術などが駆使され、世界共通の課題であるインフラ老朽化問題対策のフロントランナーの地位を築く」と記されている。</p> <p>このため、社会インフラの老朽化及び大規模災害に対応するためのロボット開発・導入の検討にあたり、国として積極的に関与する必要がある。</p>					
	このため、社会インフラの老朽化及び大規模災害に対応するためのロボット開発・導入の検討にあたり、国として積極的に関与する必要がある。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
現場のニーズに合うとともに、社会資本の維持管理・更新費の低減にも資するロボット開発の促進を図る取組とすること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-